

地域ケア、まちづくり関係者の必読書！

〔三鷹市の地域ケア実践の検証〕

東京三鷹市で50年かけて耕されてきた地域コミュニティの「参加と協働」の土壌のもとで、どのような地域ケアシステムが育まれているのか。実践の検証を通して、人生100年時代の新たな可能性を探ります。超高齢化社会に向き合う市民、行政担当者、医療・福祉関係者、事業者など、地域ケア、これからのまちづくりに携わるすべての人の必読書です。



著者：清成忠男（監修）
市川一宏（編集代表）他
書名：『人生100年時代の地域ケアシステム 三鷹市の地域ケア実践の検証を通して』

〇仕様
サイズ：A5判 260ページ
印刷：オフセット印刷
製本：ソフトカバー
発行：2019年5月24日
価格：1,500円+税

〇プロフィール
市川一宏
ルーテル学院大学 教授・学術顧問



ことごとメモ
企画段階から2年近く、編集委員の先生方や事務局様の奔走をさせていただきました。事例記事の取材執筆も。

富士山世界遺産登録への貴重な記録

〔実務担当者の視点から語る〕

2013年、それまでにない特異なプロセスで、ユネスコの世界文化遺産に登録された富士山。その道のりを記録として残そうと、登録作業に携わった国、県、市町村の担当者が集い意見交換し、経緯を把握している人々が執筆を分担、出版しました。行政関係の実務担当者たちの立場から、富士山の世界遺産登録の実践活動が語られている貴重な記録です。富士山の保全管理に関わる人々にとって、立ち返るべき視点を与えてくれる一冊といえるでしょう。



著者：田畑貞壽（監修・編著）
清雲俊元（監修）他
「富士山世界遺産登録へのみちのり」編集委員会
書名：『富士山世界遺産登録へのみちのり 明日の保全管理を考える』

〇仕様
サイズ：A5判 336ページ
印刷：オフセット印刷
製本：ソフトカバー
発行：2020年2月23日
価格：1,800円+税

〇プロフィール
田畑貞壽
千葉大学名誉教授
ランドスケーププランナー



ことごとメモ
編集会議を重ね、山梨、静岡両県の執筆者、関係者など多くの皆様とのやり取りで完成しました。



第23回日本自費出版文化賞に2冊入選！

年間3～4万冊以上発行されているといわれている自費出版。その振興と文化的地位向上を図る目的で1997年に設けられたのが、日本自費出版文化賞（一般社団法人日本グラフィックサービス工業会主催、NPO法人日本自費出版ネットワーク主管）です。第1回から2020年の第23回までに18,100点余りの応募がありました。

わたしたちの自費出版も毎回出品し、連続入選を果たしています。今年も2冊が入選しました。

第23回日本自費出版文化賞入選作品



地域文化部門
『富士山世界遺産登録へのみちのり 明日の保全管理を考える』
監修・編著：田畑 貞壽
A5判 ソフトカバー
2020年2月23日発行



グラフィック部門
『The recipes I love to teach 藤川温子のお菓子教室 私が教室で伝えたいレシピ』
著：藤川 温子
A4変形 クータ・バイディング
2019年5月16日発行

弊社の自費出版アドバイザーにご相談ください

弊社には、日本自費出版文化賞の主管団体である「NPO法人日本自費出版ネットワーク」が2004年に創設した制度、「認定自費出版アドバイザー」の認定者がいます。本づくりは弊社アドバイザーにご相談ください。



認定自費出版アドバイザー制度について、詳しくはこちらからご覧いただけます。
NPO法人日本自費出版ネットワーク
(自費出版アドバイザー制度)



6 Promises

ことごと舎の本づくり。お客さまへの6つのお約束です。

6つのお約束

- 1 「生きている証を残したい。でも自分で書くには難しい。そんなお客さまにはプロのライターが聞き書きをいたします。
- 2 「こんなスタイルにしたい」「あんな雰囲気で見たい」ご希望に沿って編集者やデザイナー、印刷・製本の職人たちが力を合わせ、より良いカタチをつくりまします。
- 3 ことごと舎では、「ご自身が表現したものですべてを「自分史」と考えています。旅行記や写真集、句集など「あなただけの本」をつくりまします。
- 4 丁寧で良質な本づくりのために、膝をつき合わせた打ち合わせをいたします。
- 5 ご来社が難しいお客さまのもとにも喜んでお伺いいたします。
- 6 ことごと舎の母体は、約60年続く印刷会社です。組版・デザインから印刷・製本まで、一貫生産体制による質の高い本づくりをいたします。

価格の参考例

お客さまのご要望によって費用は様々です。下記は自分史を例にした参考価格です。

「自分史」の場合の標準価格

[仕様] 四六判(天地188×左右128mm)、ソフトカバー、無線綴じ製本、見返し、本文・表紙1色印刷、カバー4色印刷

原稿がある本をつくる場合	聞き書きで本をつくる場合
お客さまご自身が書いた原稿をプロの編集者が確認・アドバイスをし、お客さまと一緒に本づくりをします。	プロのライターが聞き取りして、原稿をつくり、お客さまに確認をしていただきながら本づくりをします。

例 160頁前後	例 80頁前後
50部 50万円～	50部 70万円～
200部 60万円～	200部 80万円～

編集後記 小さな『ことごと舎便り』



◆今年、ちょい頑張ったのはTwitterやFBなどのWeb発信。来年は、もっとしっかりと。そしてイベントにも挑戦。恒例の「工場見学&ノート作り」(大人気♪)に加え、新たに「工場見学&本作り講座」をスタートさせます！(稲)

◆自宅にいる時間が長くなっている皆様。過去を振り返ってみると、単に懐かしむだけでなく、これからの新しい時代をどう過ごせばよいか、見えてくるかもしれません。それを形にしたいときはご連絡ください。(宮)

◆つらい時には故郷の風景やお母さんの笑顔を励みにして耐えたという方のお話を聞き書きしています。子どものころの思い出は宝物ですね。この世に一つ、その人だけの物語があるのだなあ、といつも思います。(竹)

◆本づくりに関する技術や知識は、多岐にわたります。最近Zoomでの講座も充実してきたので、自宅でも楽しみながら学べます。編集や校正、印刷・製本などを学ぶほど、奥深い世界に魅了されています。(船)

“生きている証を残したい”
お客さまの気持ちを大切に、
自分史、旅行記、写真集、画集、句集……
丁寧な本づくりで応えます



自費出版専門工房

ことごと舎 便り

From kotokotosya Vol.5

第23回
日本自費出版文化賞に2冊
入選しました



外科医の半生を客観的な視点でつづった430ページの自分史。職人技から作品が生まれる過程とその美しさを味わえる1冊。人生100年時代の地域福祉のあり方を考察する書。富士山が世界文化遺産に登録される道のりの記録など、読み応え十分の本がそろいました。